

I

はじめに



安曇野市長
宮澤 宗弘

安曇野市は、西部に峻険な山岳地帯である北アルプス連峰がそびえ立ち、麓にはその山々に水源を発する中房川、烏川、高瀬川等が流れ、豊富な地下水が湧き出す風致の優れた複合扇状地にあります。これらの変化に富んだ自然環境には、多様な野生生物が生息・生育しています。この豊かな自然環境は、市民にとって誇るべき宝であるとともに、生活を営んでいく上での基盤となっています。

市では、この貴重な自然環境を次の世代に引き継いでいくために、「安曇野市環境基本計画」の中で「豊かな自然と快適な生活環境」をテーマの一つに掲げ、人と自然の共存、共生を目指して様々な取り組みを進めています。

この取り組みを進めていくにあたり、この度、市における野生生物や自然環境の現状や課題を明らかにするため、現地調査や資料整理をおこない、『安曇野市版レッドデータブック』としてまとめました。

本書が希少な生物やその生息・生育環境の保護対策や、自然環境を大切にしまちづくりを進めていく上での基礎資料として、また市民の皆さまに自然環境について理解を深めていただくための手引書として、多くの皆さまに活用されることを期待しています。

本書の発刊にあたり、調査や執筆等にご尽力いただきました作成委員会の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました皆さまに心より感謝を申し上げます。

2014年（平成26年）3月